

5247 ^{げーぶる} 迎古の世界の旅：ワシントンからチャールストン 1041

.....

繰り返しになるが、モンタナ州から、ワイオミング州への途中、昔のバージニアタウンを訪問。下記の画像は、具体的地名不明だが、面白いので掲載。

旅記録では、アメリカでも、テレビ番組は、タイムスリップした、昔の映画が、放映されていることが多い。



～～ワシントンから、チャールストンまでのメモ～～

- 映画に親しんできた自分としては、昔のスターたちが、懐かしく、親しみ深く、距離を感じない。
- 昔を振り返りすぎるのは、今が、今一つなのか、生きている限り、今に集中することが幸せなのか、ふと、脳裏を走った。
- 人間には、意識してやる、見る、無意識にやる、見る。潜在意識があるのも面白い。（今、書いていて、ふと、**心模様 4470**が脳裏に）
- 漢字も言葉も、知らないことが多く、恥じている。しかし、下手でも、やらなきゃ始まらない。向上しない。
- 写真も、三脚を立てて、手振れをなくし・・・ 理屈はわかっている、現場では、チャンスロスする。勿論、被写体にもよるが。
- 横着な**写真師**と言われても、瞬時の判断で、シャッターを押せるのも、大きな技能だと思う。
- 終わりにない道への挑戦。意地とプライドとこだわり、運・鈍・根。執念、倒れる時は前に倒れたい。
- 昨夜就寝は、午前2時。現在、午前6時、目が覚める。チェックアウトして、とにかく、外出。
- 早朝の議事堂と周辺を散策。浮浪者が多いのと、警察の警戒が目に入る。
- 交通取り締まりは、平日は厳しく、駐車違反、スピード違反は、徹底しているように見える。
- 理性と抑止力、規律、罰則の抑止力、安全確保意地は大変。時代の進歩とともに、大きな問題である。
- 高速道路を走行中、前車の後輪がパンク。煙をはき、路肩へ。車間距離の大切さを痛感。
- 早朝の議事堂前、浮浪者、ビジネスマン、ジョギングする人、観光客、自動車が交差、・・・
- ワシントン州から、バージニア州、そして、ウエストバージニア・チャールストン。

いろいろ、小難しいことをメモっている。

1941～1945年、終戦、原爆の特別番組。ソビエト、長崎の前に、小倉、

その時は、なんとなくだが、各人の意見が理解できた。

紙一重で、状況は変わる。言葉がない。

旅の途上で、こんなメモをとっているということは、どういうことなんだろう？

～～チャールストンから、シカゴまで～～

- 午前6時スタート。まだ、暗いが、自動車は多く、活動の早さには、驚かされる。
- チャールストン、近代化されて、オハイオ川も、泥水。工業化された、代償ではないか。
- 環境汚染。机上しか、書類を見られず、現場視察も、形式になるのか、なんとなく、勝手な想像をしてしまう。
- 今、外国の写真を撮っているのは、私に年齢から、現実直視、できる時に、できることを、すぐに実行する。
- 外国に来て、日本の良さを実感している。老後に、日本を探訪するのが、楽しみである。

- 日本を出て、50日目になると、英語も、耳慣れてきて、少しは、わかるようになる。
- 価値観の相違があっても、基本的欲求や、心理、行動パターンがわかると、人間ウォッチングは面白い。
- 効率、能率で動くUSA。コントロール、できなくなってきている。動かすつもりが、動かされてきているのが問題。
- 日本も、今ならコントロールできる。自然を大切に、自然は、人間の心を、やわらげる。
- チャールストンから、64号線、35号線を、リオグランデ、ジェームスタウン、昔の雰囲気のまま、実に、面白い。

- 人が環境をつくる。人柄が室礼をつくる。室礼が人を育てる。
汚染した環境生活は、人を汚染させると懸念する。
- 赤信号で停車すると、左右、黒人ばかり。
車も汚く、人相も良くないと、日本人の私は、少し、ひいてしまう。
- シカゴの街中の、背広を着た黒人は、
目も落ち着いているし、紳士が多いと思う。
- 気温と湿度、汗でベトベト。日本の夏も、同じだろうが、
さらに、暑いというより、熱すぎる。
- 他の都市でも感じているが、予想以上に、
アメリカ合衆国は、悪くなっているような印象を持った。
- 学生時代、英語クラブ、リンカーン大統領の演説。さわりは、今も記憶している。
人民による・・・ オールメン アー、イコール。(平等)
- 人間、目標を持って、準備している時、その時が、最高と思える人が、
幸せなのかもしれない。
- 準備—成長—上昇—成熟—下降—衰退、
サバイバル、生き残り、このサイクルが、面白い。

シカゴから、ミシガンシティに向けて
アンアーバーは、自動車のデトロイトから、約70キロ。

~~山はみどり 野に花 人にはこころ~~

